

○広島修道大学健康科学部履修細則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この細則は、広島修道大学学則（以下「学則」という。）に基づき、健康科学部学生の履修及び単位の認定に必要な事項を定める。

2 本細則に定めるもののほか、必要な事項については、健康科学部教授会においてこれを定める。

(単位算定基準)

第2条 各授業科目の単位算定基準は、15時間の授業をもって1単位、30時間の授業をもって2単位、60時間の授業をもって4単位とする。ただし、実験、実習及び実技で行われる授業については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文については、その学修の成果に対して単位を認定することとし、その単位数は、4単位とする。

(科目区分、科目分類及び卒業所要単位数)

第3条 科目区分及び科目分類に応じた卒業に必要な修得単位数の詳細について、次の各号のとおり定める。

(1) 心理学科の場合

科目区分	科目分類	修得単位数		卒業所要単位数	
全学共通科目	地域理解科目	1単位以上	24単位 以上	合計124単位 以上	
	国際理解科目	8単位以上			
	一般教養科目	6単位以上			
	スポーツ・健康科目	1単位以上			
	キャリアデザイン科目	1単位以上			
	データサイエンス科目	2単位以上			
主専攻科目	健康科学部総合科目	6単位以上	78単位 以上		
	専門基礎科目				
	専門標準科目	心理臨床領域			
		心理科学領域			
専門発展科目					

自由選択科目			
--------	--	--	--

(2) 健康栄養学科の場合

科目区分	科目分類	修得単位数		卒業所要単位数
全学共通科目	地域理解科目	1単位以上	20単位 以上	合計124単位 以上
	国際理解科目	6単位以上		
	一般教養科目	6単位以上		
	スポーツ・健康科目			
	キャリアデザイン科目	1単位以上		
	データサイエンス科目	2単位以上		
主専攻科目	健康科学部総合科目	6単位以上	93単位 以上	
	専門基礎分野	社会・環境と健康		
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち		
		食べ物と健康		
	専門分野	基礎栄養学		
		応用栄養学		
		栄養教育論		
		臨床栄養学		
		公衆栄養学		
		給食経営管理論		
		総合演習		
		臨地実習		
	専門発展分野	2単位以上		
	ゼミナール			
自由選択科目				

第2章 授業科目の履修及び履修登録

(授業科目の配当年次、修得条件、修得単位数の詳細等)

第4条 学則第10条第1項別表2の授業科目のうち、健康科学部の学生が履修できる授業科目の配当年次、修得条件、修得単位数の詳細は、別表1（健康科学部授業科目配当表）に定める。

2 別表1に定める授業科目のうち、各年度に開講する授業科目、当該授業科目担当教員名等は、その年度の始めに発表する。

(授業科目の履修登録)

第5条 履修登録できる授業科目については、前条第2項に定めるとおりとし、学生は、授業科目のうちから履修科目を選択し、指定の登録日に所定の履修手続きにより、履修科目を登録（以下「履修登録」という。）しなければならない。

2 前項の履修登録は、本細則に定めるもののほか、履修指導に従って、これを行わなければならない。ただし、教育上必要と認められる場合には、別表1にかかわらず、学生の在籍する配当年次と異なる授業科目の履修登録を認めることがある。

3 第1項の履修登録において、同一科目名称の授業科目及び既に単位を修得した授業科目については履修登録を行うことができない。ただし、副題の異なる同一授業科目の履修については、この限りではない。

4 前項の規定にかかわらず、既に単位を修得した授業科目の成績を上書きすることを目的として履修すること（以下「取消再履修」という。）は妨げない。ただし、取消再履修が承認された科目については、既に単位を修得した同一科目の成績及び単位数を無効とする。取消再履修できる授業科目及び手続は別に定める。

5 第1項の履修登録において、不合格とされた授業科目を再度履修する場合は、履修指導に従って、これを行わなければならない。

6 心理学科における演習、実習、卒業論文、健康栄養学科における臨地実習Ⅱ（給食経営管理論）、臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）、臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）、臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）、卒業基礎ゼミ、卒業ゼミの授業科目を履修する場合は、担当教員の履修承認を受けて登録しなければならない。

(履修登録上の制限)

第6条 学生は、制限を定める授業科目については、その制限に従い履修登録しなければならない。

(他学部、他学科授業科目の履修)

第7条 他学部他学科に属する授業科目を履修することができる者は、2年次以上とする。

- 2 他学部、他学科の授業科目のうち履修不可科目は別に定める。他学部、他学科科目履修で修得した単位は両学科とも自由選択科目として卒業所要単位に算入することができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、所属学部開設されている授業科目は、他学部の授業科目として履修することができない。

(修道スペシャルプログラム)

第8条 修道スペシャルプログラムのうち、データサイエンスプログラム及びワールド・ステージ・プログラム以外は、2年次以上で直近1年間の年度GPA値が2.0以上の成績を収めた者が履修することができる。

- 2 修道スペシャルプログラムの実施及び修了に関して必要な事項は別に定める。

(履修制限単位数)

第9条 学生が1年間に履修登録できる単位数は、各年度において心理学科は44単位、健康栄養学科は46単位を超えることができない。前期又は後期に履修し得る単位数は、原則として心理学科は24単位、健康栄養学科は28単位を超えることができない。ただし、4年次に限り心理学科は28単位まで履修することができる。なお、通年科目の単位数は、前後期に按分して履修単位数に含めるものとする。

- 2 第7条及び第8条に定める授業科目を履修する場合は、これを第1項の単位に含めるものとする。
- 3 学則第10条第1項別表2(その9)の授業科目の単位数は、第1項の履修単位数に含めないものとする。
- 4 編入学生及び学士入学についての履修制限単位数は、第1項にかかわらず、単位換算決定後にこれを定める。
- 5 広島修道大学学生交流規程第4条第3項に基づき、他大学の科目を履修する場合は、各年次とも年間上限単位数に2単位を加えることができる。他大学で履修する単位数を加えることができる。ただし、年間上限単位数に加えることができる単位数の上限は2単位とする。なお、教育ネットワーク中国の単位互換包括協定に基づき履修できる単位数は、2年次生は年間2単位、3年次生は年間4単位、4年次生は年間8単位を上限とする。

第3章 単位認定及び成績評価

(単位認定及び成績評価)

第10条 各授業科目の単位認定方法については、学則第17条の規定による。また、成績評価は、広島修道大学及び広島修道大学大学院における成績評価に関する規程第2条から第4条までの規定による。

2 卒業論文は、次に定める指定の日までに教学センターに提出しなければならない。

(1) 年度末に提出する場合は、履修年度の12月20日とする。ただし、当日が日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日であるときは、その翌日とする。

(2) 前期末に提出する場合は、履修年度の8月25日とする。ただし、当日が日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日であるときは、その翌日とする。

第11条 削除

第12条 削除

第13条 削除

第4章 その他

(事務担当)

第14条 この細則に関する事務は、教学センターが担当する。

(細則の改廃)

第15条 この細則の改廃は、大学評議会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

1 この細則は、2017年4月1日から施行する。

2 この細則は、第4条第1項別表2を改正し、2018（平成30）年4月1日から施行する。ただし、2017（平成29）年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この細則は、2017年12月6日に第4条第1項別表1を改正し、2018年4月1日から施行する。ただし、2017年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

4 この細則は、2018年9月5日に第4条第1項別表1を改正し、第10条を削り、以下条数を繰り上げ、2018年4月1日に遡って施行する。ただし、2017年度生については、第4条第1項別表1の(2)健康栄養学科主専攻科目のうち、健康科学部総合科目の備考欄を、「健康・医療心理学」は「健康心理学」、「心理学的支援法」は「カウンセリング心理学」と読み替えて、2017年4月1日に遡って適用するほかは、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

5 この細則は、2019年3月1日に第10条第3項を改正し、2018年4月1日に遡って施行する。ただし、2017年度に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従

前の例による。

- 6 この細則は、2019年5月8日に第11条第3項第2号を改正し、同日から施行する。
- 7 この細則は、2020年2月7日に第4条第1項別表1を改正し、2020年4月1日から施行する。ただし、2019年度以前に入学した者については、「広島の実業承継を学ぶ」を遡及適用するほかは、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 8 この細則第10条に規定する学期登録単位数は、2020年度後期に限り通年で履修する科目を除き心理学科26単位、健康栄養学科30単位とする。ただし、4年次に限り心理学科30単位とする。
- 9 この細則は、2020年12月2日に第4条第1項別表1を改正し、2021年4月1日から施行する。ただし、2020年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 10 この細則は、2021年3月1日に第9条を削り、以下条数を繰り上げ、2021年4月1日から施行する。ただし、2020年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 11 この細則は、2021年6月2日に第9条第1項を改正し、2022年4月1日から施行する。
- 12 この細則の附則を2022年3月14日に改正し、前項附則に定める第9条第1項改正の施行日を、2023年4月1日に変更する。
- 13 この細則は、2022年11月2日に第2条第2項を新たに追加し、第3条第1号、第3条第2号、第4条第1項（別表1）及び第5条第5項を改正し、2023年4月1日から施行する。ただし、2022年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 14 この細則は、2023年1月4日に第2条第1項、第3条第1項第1号、2号、第4条第1項（別表1）、第7条第1項及び第8条を改正し、第7条第2項を新たに追加し、以下項数を繰り下げ、第9条第5項を新たに追加し、第11条を削除し、2024年4月1日から施行する。ただし、2023年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 15 この細則は、2023年3月1日に第10条第2項及び第3項を改正し、2023年4月1日から施行する。
- 16 この細則の附則を2023年3月1日に改正し、附則12に定める第9条第1項改正の施行日を、2024年4月1日に変更する。
- 17 この細則は、2024年3月6日に第4条第1項別表1、第5条、第8条、第9条、第10

条（見出しを含む）及び第3章の章名を改正し、第12条及び第13条を削除し、2024年4月1日より施行する。ただし、2023年度以前に入学した者については、第5条第4項、第9条第1項、第10条、第12条及び第13条を除き、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（第4条第1項）

健康科学部授業科目配当表

(1) 両学科共通

科目区分	科目分類	授業科目の名称	単位数		配当年次	備考
			必修	選択		
全学共通科目	地域理解科目	広島修道大学と広島		1	1・2・3・4	①
		広島と平和		1	1・2・3・4	
		広島の防災と法務		2	2・3・4	
全学共通科目	国際理解科目	日本語Ⅰ		1	1・2・3・4	②、③、④、⑤
		日本語Ⅱ		1	1・2・3・4	
		日本語Ⅲ		1	1・2・3・4	
		日本語Ⅳ		1	1・2・3・4	
		日本語Ⅴ		1	1・2・3・4	
		日本語Ⅵ		1	1・2・3・4	
		日本語Ⅶ		1	1・2・3・4	
		日本語Ⅷ		1	1・2・3・4	
		アカデミック日本語		2	1・2・3・4	
		ビジネス日本語		2	1・2・3・4	
		漢字入門Ⅰ		1	1・2・3・4	
		漢字入門Ⅱ		1	1・2・3・4	
		留学生アカデミックスキル		2	1・2・3・4	
		留学生キャリア形成		2	1・2・3・4	
		留学スタートアップ		1	1・2・3・4	
留学フォローアップ		1	1・2・3・4			

中長期スタディ・アブロード (入門)	2	1・2・3・4
中長期スタディ・アブロード (事前)	2	2・3・4
中長期スタディ・アブロード (事後)	1	2・3・4
ヨーロッパ言語圏留学入門	1	1・2・3・4
英語圏留学入門	1	1・2・3・4
アジア圏留学入門	1	1・2・3・4
外国語としての日本語	2	1・2・3・4
Multicultural Project	2	1・2・3・4
多文化交流プロジェクト	2	1・2・3・4
言語と文化	2	1・2・3・4
留学英語入門	2	1・2・3・4
言語文化特殊講義Ⅰ	2	2・3・4
言語文化特殊講義Ⅱ	2	2・3・4
JAPANトピックス	1	1・2・3・4
ことばと社会	2	1・2・3・4
英語Ⅰ(リーディング・ライテ ィング)	1	1・2・3・4
英語Ⅱ(リーディング・ライテ ィング)	1	1・2・3・4
英語Ⅲ(リスニング・スピーキ ング)	1	1・2・3・4
英語Ⅳ(リスニング・スピーキ ング)	1	1・2・3・4
アクティブ・イングリッシュⅠ	1	1・2・3・4
アクティブ・イングリッシュⅡ	1	1・2・3・4
英語ライティングⅠ	2	1・2・3・4
英語ライティングⅡ	2	1・2・3・4

英語ライティングⅢ	2	1・2・3・4
英語ライティングⅣ	2	1・2・3・4
英語聴解Ⅰ	2	1・2・3・4
英語聴解Ⅱ	2	1・2・3・4
英語聴解Ⅲ	2	1・2・3・4
英語聴解Ⅳ	2	1・2・3・4
英語読解Ⅰ	2	1・2・3・4
英語読解Ⅱ	2	1・2・3・4
英語読解Ⅲ	2	1・2・3・4
英語読解Ⅳ	2	1・2・3・4
アカデミック・リーディングⅠ	2	1・2・3・4
アカデミック・リーディングⅡ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーション入門Ⅰ	1	1・2・3・4
英語コミュニケーション入門Ⅱ	1	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅠ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅡ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅢ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅣ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅤ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅥ	2	1・2・3・4
英語文法入門Ⅰ	1	1・2・3・4
英語文法入門Ⅱ	1	1・2・3・4
英語語法Ⅰ	2	1・2・3・4
英語語法Ⅱ	2	1・2・3・4
英語語法Ⅲ	2	1・2・3・4
英語語法Ⅳ	2	1・2・3・4
資格英語入門Ⅰ	1	1・2・3・4
資格英語入門Ⅱ	1	1・2・3・4

資格英語Ⅰ	2	1・2・3・4
資格英語Ⅱ	2	1・2・3・4
資格英語Ⅲ	2	1・2・3・4
資格英語Ⅳ	2	1・2・3・4
資格英語Ⅴ	2	1・2・3・4
資格英語Ⅵ	2	1・2・3・4
英語プレゼンテーションⅠ	2	1・2・3・4
英語プレゼンテーションⅡ	2	1・2・3・4
英語ディスカッションⅠ	2	1・2・3・4
英語ディスカッションⅡ	2	1・2・3・4
英語ディスカッションⅢ	2	1・2・3・4
英語ディスカッションⅣ	2	1・2・3・4
英語ディスカッションⅤ	2	1・2・3・4
英語ディスカッションⅥ	2	1・2・3・4
時事英語Ⅰ	2	1・2・3・4
時事英語Ⅱ	2	1・2・3・4
時事英語Ⅲ	2	1・2・3・4
時事英語Ⅳ	2	1・2・3・4
時事英語Ⅴ	2	1・2・3・4
時事英語Ⅵ	2	1・2・3・4
ビジネス英語Ⅰ	2	1・2・3・4
ビジネス英語Ⅱ	2	1・2・3・4
ビジネス英語Ⅲ	2	1・2・3・4
ビジネス英語Ⅳ	2	1・2・3・4
ビジネス英語Ⅴ	2	1・2・3・4
ビジネス英語Ⅵ	2	1・2・3・4
ドイツ語Ⅰ	1	1・2・3・4
ドイツ語Ⅱ	1	1・2・3・4
ドイツ語Ⅲ	1	1・2・3・4
ドイツ語Ⅳ	1	1・2・3・4

	フランス語Ⅰ	1	1・2・3・4
	フランス語Ⅱ	1	1・2・3・4
	フランス語Ⅲ	1	1・2・3・4
	フランス語Ⅳ	1	1・2・3・4
	スペイン語Ⅰ	1	1・2・3・4
	スペイン語Ⅱ	1	1・2・3・4
	スペイン語Ⅲ	1	1・2・3・4
	スペイン語Ⅳ	1	1・2・3・4
	中国語Ⅰ	1	1・2・3・4
	中国語Ⅱ	1	1・2・3・4
	中国語Ⅲ	1	1・2・3・4
	中国語Ⅳ	1	1・2・3・4
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1	1・2・3・4
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1	1・2・3・4
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1	1・2・3・4
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1	1・2・3・4
	中級外国語Ⅰ	2	2・3・4
	中級外国語Ⅱ	2	2・3・4
	上級外国語Ⅰ	2	2・3・4
	上級外国語Ⅱ	2	2・3・4
	外国語特殊講義	2	3・4
	海外研修A	1	1・2・3・4
	海外研修B	2	1・2・3・4
	海外研修C	3	1・2・3・4
	海外研修D	4	1・2・3・4
	海外研修E	5	1・2・3・4
一般教養 科目	哲学	2	1・2・3・4
	倫理学	2	1・2・3・4
	美学	2	1・2・3・4
	芸術学	2	1・2・3・4

西洋文学	2	1・2・3・4
日本語学	2	1・2・3・4
心理学	2	1・2・3・4
文化論	2	1・2・3・4
文化人類学	2	1・2・3・4
西洋の美術	2	1・2・3・4
日本近世文学	2	1・2・3・4
西洋文化論	2	1・2・3・4
人間と生命の倫理学	2	1・2・3・4
人生の探究としての倫理学	2	1・2・3・4
愛の倫理的考察	2	1・2・3・4
現代日本語の特質	2	1・2・3・4
ドイツ文学	2	1・2・3・4
江戸時代の衣服	2	1・2・3・4
日本語と英語	2	1・2・3・4
科学史	2	1・2・3・4
日本文学	2	2・3・4
西洋の図像学	2	2・3・4
キリスト教倫理	2	2・3・4
芸術文化学	2	2・3・4
江戸時代の服飾	2	2・3・4
日本史	2	1・2・3・4
西洋史	2	1・2・3・4
地理学	2	1・2・3・4
社会学	2	1・2・3・4
法学	2	1・2・3・4
政治学	2	1・2・3・4
経済学	2	1・2・3・4
情報社会論	2	1・2・3・4
日本近代史	2	1・2・3・4

日本近現代史	2	1・2・3・4
西洋中近世史	2	1・2・3・4
生活の中の地理学	2	1・2・3・4
社会学のものの見方と考え方	2	1・2・3・4
現代経済学	2	1・2・3・4
情報環境論	2	1・2・3・4
政党と選挙の政治学	2	1・2・3・4
歴史と社会	2	1・2・3・4
歴史人類学	2	1・2・3・4
中国の歴史と社会	2	1・2・3・4
近代日本と戦争	2	1・2・3・4
資産運用の基礎	2	1・2・3・4
地方行政と法	2	1・2・3・4
事例で学ぶ民法	2	1・2・3・4
現代社会と企業法	2	1・2・3・4
国際社会と法	2	1・2・3・4
現代社会と刑事法	2	1・2・3・4
メディア論	2	2・3・4
社会保障論	2	2・3・4
地政学	2	2・3・4
地方の現状と行方	2	2・3・4
化学	2	1・2・3・4
生物学	2	1・2・3・4
環境科学	2	1・2・3・4
数学	2	1・2・3・4
応用数学	2	1・2・3・4
遺伝学の基礎	2	1・2・3・4
公衆衛生学	2	1・2・3・4
宇宙と物質と生命の科学	2	1・2・3・4
自然科学と技術入門	2	1・2・3・4

	動物の自然史と分類	2	2・3・4	
	一般教養特殊講義	2	1・2・3・4	
スポーツ・健康 科目	スポーツ・健康の栄養学	2	1・2・3・4	⑥
	健康科学論	2	1・2・3・4	
	運動科学論	2	1・2・3・4	
	健康科学演習	2	1・2・3・4	
	運動科学演習	2	1・2・3・4	
	健康スポーツ実習	1	1・2・3・4	
	運動スポーツ実習	1	1・2・3・4	
	野外運動実習Ⅰ	1	2・3・4	
	野外運動実習Ⅱ	1	2・3・4	
キャリア デザイン 科目	大学生活とキャリア	1	1・2・3・4	⑦
	インターンシップ入門	1	1・2・3・4	
	キャリアビジョンとキャリア 形成	2	2・3・4	
	広島の実業承継を学ぶ	2	2・3・4	
	キャリアデザイン特殊講義	2	2・3・4	
	新社会人のキャリアを学ぶ	1	4	
データサイエンス 科目	データサイエンス概論	2	1・2・3・4	⑧
	情報処理入門	2	1・2・3・4	
	統計学	2	1・2・3・4	
	情報化社会と人間	2	1・2・3・4	
	情報と知能	2	1・2・3・4	
	応用統計学	2	1・2・3・4	
	情報基礎演習	2	1・2・3・4	
	情報応用演習	2	1・2・3・4	
	プログラミング入門	2	1・2・3・4	
	データサイエンス特殊講義	2	1・2・3・4	

① 広島修道大学と広島は、原則として1年次に履修必修とする。

② 日本語Ⅰ～Ⅷ、アカデミック日本語、ビジネス日本語、漢字入門Ⅰ・Ⅱ、留学生ア

カデミックスキル、留学生キャリア形成は、外国人留学生等のみ履修することができる。

③ 英語科目は、当該学期のレベル区分に基づき履修する。

英語コミュニケーション入門Ⅰ・Ⅱ、英語文法入門Ⅰ・Ⅱ、資格英語入門Ⅰ・Ⅱはレベル1の科目とし、レベル1の学生に限り履修できる。

アカデミック・リーディングⅠ・Ⅱ、英語プレゼンテーションⅠ・Ⅱは、レベル2・レベル3・レベル4の学生が履修できる。

英語科目のうち英語Ⅰ・Ⅱ（リーディング・ライティング）、英語Ⅲ・Ⅳ（リスニング・スピーキング）、アクティブ・イングリッシュⅠ・Ⅱ、アカデミック・リーディングⅠ・Ⅱ、英語プレゼンテーションⅠ・Ⅱ、英語コミュニケーション入門Ⅰ・Ⅱ、英語文法入門Ⅰ・Ⅱ及び資格英語入門Ⅰ・Ⅱを除くⅠ・Ⅱの科目はレベル2の科目とし、レベル2の学生が履修できる。Ⅲ・Ⅳの科目はレベル3の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。Ⅴ・Ⅵの科目はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。

④ 中級外国語Ⅰ・Ⅱ、言語文化特殊講義Ⅰ・Ⅱ及び上級外国語Ⅰ・Ⅱは、当該外国語Ⅰ～Ⅳの4単位を修得している学生が履修できる。外国語特殊講義は、当該外国語Ⅰ～Ⅳの4単位と、当該外国語の中級外国語Ⅰ・Ⅱ、言語文化特殊講義Ⅰ・Ⅱ又は上級外国語Ⅰ・Ⅱから2単位を修得している学生が履修できる。

⑤ 中長期スタディ・アブロード（入門）、中長期スタディ・アブロード（事前）は、TOEIC® Listening & Reading Test（以下、「TOEIC L&R」という。）450点以上またはTOEIC Bridge® Listening & Reading Tests（以下、「TOEIC Bridge L&R」という。）76点以上のスコアを取得している学生が履修できる。また、Multicultural Projectは、TOEIC L&R 500点以上またはTOEIC Bridge L&R 81点以上のスコアもしくは実用英語技能検定2級以上を取得している学生が履修できる。

⑥ スポーツ・健康科目の実習科目は、8単位まで修得することができる。

⑦ 大学生活とキャリアは、原則として1年次に履修必修とする。

⑧ データサイエンス概論は、原則として1年次に履修必修とする。

(2) 心理学科

科目区分	科目分類	授業科目の名称	単位数		配当年次	備考
			必修	選択		
主	健康科学	初年次セミナー	2		1・2・3・4①	

専 攻 科 目	部総合科	心理学統計法Ⅰ	2		1・2・3・4	
		ポジティブ心理学		2	1・2・3・4	
		カウンセリング心理学		2	2・3・4	
		基礎化学		2	1・2・3・4	
		食育入門		2	3・4	
		地域食文化論		2	3・4	
		健康科学部特別講義		2	1・2・3・4	
	専門基礎 科目	心理学概論	2		1・2・3・4	②、③、④、⑤、⑥、⑦
		心理学研究法	2		1・2・3・4	
		心理学統計法Ⅱ	2		2・3・4	
		心理学統計法Ⅲ	2		2・3・4	
		心理学実験Ⅰ	2		2・3・4	
		心理学実験Ⅱ	1		2・3・4	
		発達心理学	2		1・2・3・4	
		知覚・認知心理学	2		1・2・3・4	
		神経・生理心理学	2		1・2・3・4	
		臨床心理学概論	2		1・2・3・4	
		集団力学	2		2・3・4	
		教育・学校心理学	2		2・3・4	
		心理的アセスメント	2		2・3・4	
		障害者・障害児心理学	2		2・3・4	
		健康・医療心理学	2		2・3・4	
		心理学的支援法	2		2・3・4	
		心理学外国語文献		2	2・3・4	
		心理情報処理		2	2・3・4	
		地域援助実践体験		2	2・3・4	
	専 門 標 準	心理 臨床 領域	人体の構造と機能及び 疾病	2		1・2・3・4
感情・人格心理学				2	1・2・3・4	
司法・犯罪心理学				2	1・2・3・4	

科 目		福祉心理学		2	1・2・3・4
		精神疾患とその治療		2	1・2・3・4
		関係行政論		2	1・2・3・4
		公認心理師の職責		2	3・4
		最新心理学講義a		2	1・2・3・4
	心理 科学 領域	心理学史		2	2・3・4
		進化心理学		2	2・3・4
		社会・集団・家族心理学		2	1・2・3・4
		産業・組織心理学		2	2・3・4
		応用心理学		2	1・2・3・4
		乳幼児心理学		2	2・3・4
		学習・言語心理学		2	2・3・4
		文化心理学		2	1・2・3・4
		心理調査概論		2	2・3・4
		心理学統計法Ⅳ		2	3・4
	最新心理学講義b		2	1・2・3・4	
	専門発展 科目	心理学実験Ⅲ	1		3・4
		心理学実験Ⅳ	1		3・4
		演習Ⅰ	2		3・4
演習Ⅱ		2		3・4	
演習Ⅲ		2		4	
演習Ⅳ		2		4	
心理演習			2	3・4	
心理実習			2	4	
	卒業論文	4		4	

- ① 基礎化学、食育入門、地域食文化論の3科目のうち1科目を選択必修とする。
- ② 心理学統計法Ⅳについては、心理学統計法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの単位を取得していなければ、履修できない。
- ③ 心理学実験Ⅲ・Ⅳについては、心理学実験Ⅰ・Ⅱの単位を取得していなければ、履

修できない。ただし、演習Ⅰのクラス分けがなされている者は、この限りではない。

④ 演習Ⅲ・Ⅳについては、演習Ⅰ・Ⅱの単位を修得していなければ、履修できない。ただし、単位修得上当該年度若しくは翌年度前期末に卒業可能な者については、この限りでない。

⑤ 卒業論文については、演習Ⅰ・Ⅱの単位を修得していなければ、履修できない。ただし、単位修得上当該年度に卒業可能な者については、この限りでない。

⑥ 卒業論文については、休学等による在学年数不足の者、履修制限単位の上から卒業不可能な者は、履修できない。

⑦ 最新心理学講義 a・bについては、副題の異なる場合は複数履修することができる。

(3) 健康栄養学科

科目区分	科目分類	授業科目の名称	単位数		配当年次	備考
			必修	選択		
主 専 攻 科 目	健康科学 部総合科 目	初年次セミナー		2	1・2・3・4	①、②
		心理学統計法Ⅰ		2	1・2・3・4	
		ポジティブ心理学		2	1・2・3・4	
		カウンセリング心理学		2	2・3・4	
		基礎化学		2	1・2・3・4	
		食育入門		2	3・4	
		地域食文化論		2	3・4	
		健康科学部特別講義		2	1・2・3・4	
専 門 基 礎 分 野	社 会・環 境と 健康 人体 の構 造と 機能	健康管理概論	2		1・2・3・4	③、④、⑤、⑥、⑦、⑧
		公衆衛生学	2		2・3・4	
		社会福祉概論	2		2・3・4	
		生化学Ⅰ	2		1・2・3・4	
		生化学Ⅱ	2		1・2・3・4	
		生化学実験	1		2・3・4	
		解剖生理学Ⅰ	2		1・2・3・4	

及び 疾病 の成 り立 ち	解剖生理学Ⅱ	2	1・2・3・4	
	解剖生理学実験	1	2・3・4	
	臨床医学Ⅰ	2	2・3・4	
	臨床医学Ⅱ	2	2・3・4	
	臨床医学Ⅲ	2	3・4	
	食べ 物と 健康	食品学Ⅰ	2	1・2・3・4
		食品学Ⅱ（含食品加工学）	2	1・2・3・4
		基礎分析実験	1	1・2・3・4
		食品学実験Ⅰ	1	1・2・3・4
		食品学実験Ⅱ	1	2・3・4
		食品加工学実習	1	3・4
		食品衛生学	2	1・2・3・4
		食品衛生学実験	1	2・3・4
		調理学	2	1・2・3・4
調理学実習Ⅰ		1	1・2・3・4	
調理学実習Ⅱ		1	1・2・3・4	
調理学実習Ⅲ		1	2・3・4	
専 門 分 野		基礎 栄養 学	基礎栄養学	2
	栄養生理学実験		1	2・3・4
	応用 栄養 学	応用栄養学Ⅰ	2	2・3・4
		応用栄養学Ⅱ	2	2・3・4
		応用栄養学Ⅲ	2	3・4
		応用栄養学実習	1	3・4
	栄養 教育 論	栄養教育論Ⅰ	2	2・3・4
		栄養教育論Ⅱ	2	2・3・4
		栄養教育論Ⅲ	2	3・4
		栄養教育論実習	1	3・4

臨床 栄養 学	臨床栄養学Ⅰ	2		2・3・4
	臨床栄養学Ⅱ	2		2・3・4
	臨床栄養学Ⅲ	2		3・4
	臨床栄養学Ⅳ	2		3・4
	臨床栄養学実習Ⅰ	1		3・4
	臨床栄養学実習Ⅱ	1		3・4
公衆 栄養 学	公衆栄養学Ⅰ	2		2・3・4
	公衆栄養学Ⅱ	2		3・4
	公衆栄養学実習	1		3・4
給食 経営 管理 論	給食経営管理論Ⅰ	2		2・3・4
	給食経営管理論Ⅱ	2		2・3・4
	給食経営管理実習Ⅰ (学内)	1		2・3・4
	給食経営管理実習Ⅱ (地域配食)	1		3・4
総合 演習	総合栄養演習Ⅰ	2		3・4
	総合栄養演習Ⅱ		2	4
臨地 実習	臨地実習Ⅰ (給食の運 営)	1		3・4
	臨地実習Ⅱ (給食経営 管理論)		1	4
	臨地実習Ⅲ (臨床栄養 学)		1	4
	臨地実習Ⅳ (臨床栄養 学)		1	4
	臨地実習Ⅴ (公衆栄養 学)		1	4
専門発展 分野	食品機能性成分の理解		2	3・4
	食品微生物学		2	3・4

	食産業の理解		2	3・4
	総合栄養講義Ⅰ		2	4
	総合栄養講義Ⅱ		2	4
ゼミナール	卒業基礎ゼミ	2		3・4
	卒業ゼミ	2		4

- ① 初年次セミナーは原則として1年次に履修必修とする。
- ② 心理学統計法Ⅰ、ポジティブ心理学、カウンセリング心理学の3科目のうち1科目を選択必修とする。
- ③ 総合栄養演習Ⅰ、臨地実習Ⅰ（給食の運営）については、基礎栄養学、栄養生理学実験、応用栄養学Ⅰ・Ⅱ、栄養教育論Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、公衆栄養学Ⅰ、給食経営管理論Ⅰ・Ⅱならびに給食経営管理実習Ⅰの単位を取得し、履修状況、課題等の提出、出席率等を勘案して総合的に判定し、良好であると判断された者が履修できる。
- ④ 総合栄養演習Ⅱ、臨地実習Ⅱ（給食経営管理論）、臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）、臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）、臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）については、給食経営管理実習Ⅱ、応用栄養学Ⅲ、応用栄養学実習、栄養教育論Ⅲ、栄養教育論実習、臨床栄養学Ⅲ、臨床栄養学Ⅳ、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ、公衆栄養学Ⅱ、公衆栄養学実習の単位を取得し、履修状況、課題等の提出、出席率等を勘案して総合的に判定し、良好であると判断された者が履修できる。
- ⑤ 臨地実習Ⅰについては、総合栄養演習Ⅰを、臨地実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴについては、総合栄養演習Ⅱをそれぞれ同一年度に履修しなければならない。
- ⑥ 臨地実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴについては、原則として総合栄養演習Ⅰおよび臨地実習Ⅰ（給食の運営）の単位を取得していなければ、履修できない。
- ⑦ 卒業ゼミについては、卒業基礎ゼミの単位を修得していなければ、履修できない。ただし、単位取得上当該年度に卒業可能な者はこの限りではない。
- ⑧ 卒業ゼミについては、休学等による在学年数不足の者、履修制限単位の上から卒業不可な者は、履修できない。